

砂山地域まちづくり計画

1 地域の特徴、課題

砂山地域は、「お幕場」を中心とした広大な松林や「大池」、平成の名水百選に選ばれた清流「荒川」、この清流が流れ込む日本海など、とても美しい自然に恵まれた地域です。

ここに住んでいる人は、地域に愛着を持ち、昔からの伝統行事や文化、町並みなどをこの地域の誇れる財産として継承してきました。

自然や伝統のほかにも、自慢できる美味しい農産物や魚介類、これを使った郷土料理、そして何よりもあたたかい人とのつながりがあります。

近年は、他の多くの地域と同様に、働く場が少ない、若者が定住しない、子供が少ない、高齢化に歯止めが掛からないなど共通の課題も抱えていますが、6集落で760世帯、2,300人近くの方が生活しています。

これからも、一人ひとりが触れ合いながら、みんなが安心して暮すことができ、「この砂山地域に住んで良かった」と思える集落・地域にしようと取り組んでいきます。

砂山地域の特徴

※砂山地域6集落の特徴

区が中心となり、住民同士のつながりをつくり、集落間の連携を図っています。防災、伝統文化、環境整備、公共施設の管理活動など集落内にある消防団や高齢者の団体・PTAなど各種団体と住民一人ひとりが協力し合って、より住みよい集落を目指して活動しています。また、赤松集落は平成17年からの新しい集落です。みんなで考えた事業を通してコミュニティづくりに取り組んでいます。

※清流「荒川」に面した牛屋・福田集落

集落の南側の平成の名水「荒川」と面し、その堤防からは、田園の広さを肌で感じ取ることができます。堤防には桜が植栽され、春は桜、夏は清流のかがやき、秋には色合いが変わりゆく田園の風景が眺められ、一年を通してウォーキングなどを楽しめる憩いの堤防を有しています。

また両集落では、祭礼に獅子踊りが行われます。数か月前から準備に取り掛かり、集落全体で伝統の継承に取り組んでいます。

※砂丘地に位置する北新保・長松・赤松集落

砂山地域の西側は、砂丘地が高台を形成しています。北新保・長松・赤松集落はこの砂丘地に位置しています。砂丘地の畑は、柔らかく糖度が高いやわはだねぎの産地として有名です。また「お幕場」を擁する広大な「お幕場森林公園」や白鳥の飛来する「大池」には大勢の人が訪れます。

※日本海に面する塩谷集落

塩谷集落は、北前船の寄港地として栄えた港町です。伝統的な妻入りの町屋は、歴史的な景観を感じさせます。毎年秋には、町屋散策のイベントに大勢の人が訪れます。町屋の他に御沢仏を納めた「円福寺」、新潟県で一番低い山「稻荷山」、塩谷大祭が行われる「塩竈神社」などたくさんの歴史的財産や自然景勝に恵まれた集落です。

※砂山地域の三つの宝

○日本の白砂青松百選「お幕場」

日本の白砂青松百選は、社団法人・日本の松の緑を守る会が選定した日本の美しい松原を伴った海岸のことです。江戸中期1700年代から江戸の終わり頃までの村上藩当時、お殿様の遊園・行楽の場所としてつくられたといわれています。一帯は松と白砂と苔の緑の景色だったということで、今もその面影を残しています。毎年5月に村上藩のあった頃を偲び、お幕場茶会が開かれています。

○平成の名水百選「荒川」

「荒川」は、平成20年6月に環境省が発表した「平成の名水百選」に選ばれました。選定対象は中・下流域で関川村、村上市、胎内市に及びます。砂山地域の人達は、昔からこの名水の恵みを受けています。

○お幕場森林公園・大池

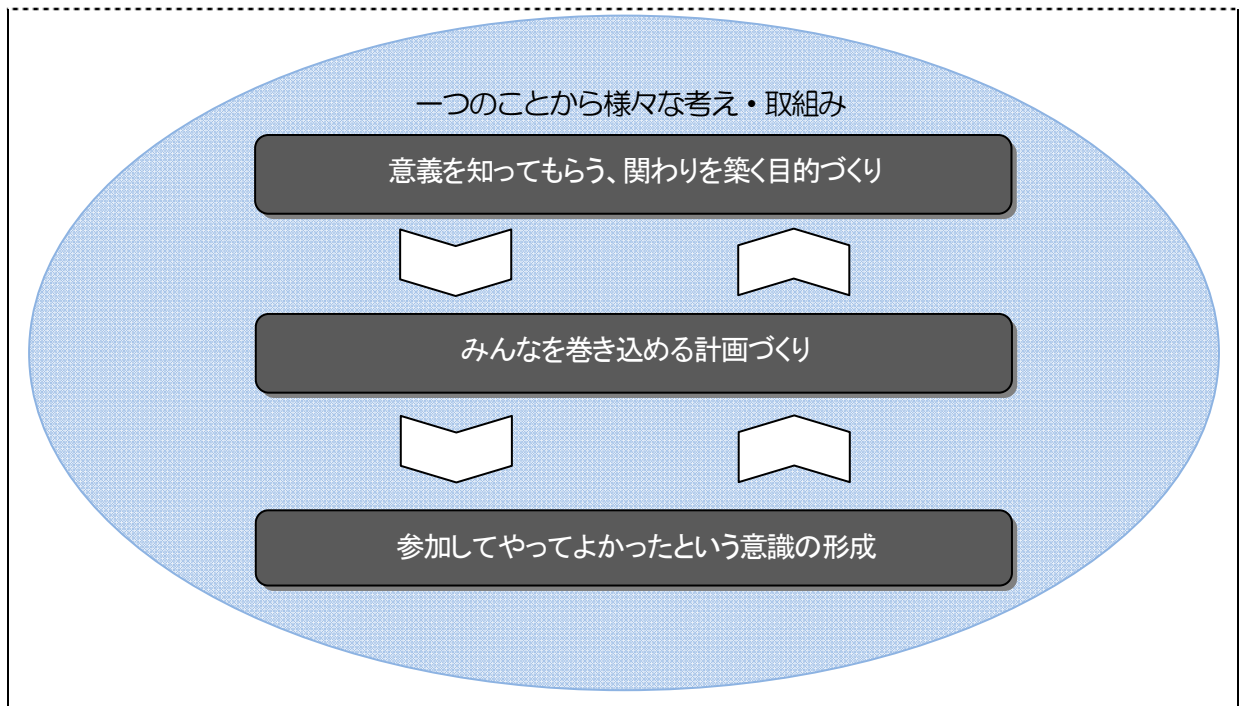
塩谷から岩船までの海岸約3kmの間、国道345号線と海に挟まれた美しい赤松林が続いています。この一帯を「幕場森林公園」呼び、広さは83haにも及びます。公園の中には遊歩道が整備され、大勢の方が散策に訪れています。この赤松林に囲まれた「大池」は、広さ約3haの砂丘湖です。ハクチョウの飛来地としても知られハクチョウの数は年々増加し、今では1,000羽を超えるほどになっています。

2 地域のまちづくりの基本方針、将来像(目標年度:平成 29 年度)

みんなで話し合い、みんなで取り組み、ふれあう集落・地域を目指して

3 具体的な取り組みの方向性、実施事業等(計画年度:平成 27 年度～平成 29 年度)

取り組みの方向性や実施する事業
集落町内会、地域の行事や事業に参加してもらうにはどうしたらいいか。みんなのアイデアを出し合い、みんなで話し合うことで取り組み、次へつなげる取り組みを行う。
平成 24 年度から平成 26 年度までの事業内容と成果や課題は次のとおりです。
<p>※集落事業</p> <p>各集落ともアイデアを出し合い、その集落の特性を踏まえ色々な内容で交流を主体とした事業を行ってきました。同じ集落にいても、普段なかなか顔を合わせる人が少ない人たちが笑顔で話合ったり、顔見知りになったりすることで住民同志の一体感が高められてきました。</p> <p>集落事業は、世代間が交流することで地元を大事に思う、愛着を感じてもらい始めとして、これからはより大勢の方々の参加での取り組みが必要です。</p>
<p>※砂山地域事業</p> <p>砂山地域の住民がみんなすばらしいと感じている清流「荒川」と白砂青松の「お幕場」を舞台に事業を行い、大勢の方々の協力と参加で交流を図ってきました。</p> <p>「荒川」には、砂山をアピールしようということで堤防に花を植栽し、地域で一つのことをすることで、初めて会う人同士でも親近感が得られたものと思います。また、「お幕場」でのイベントでは、様々な趣向を凝らし企画し、家族やチームで散策してもらったことで、砂山地域にしかない広大な松林の価値を感じてもらったものと思います。</p> <p>しかし、準備する側、参加する側といった面が見受けられ、どうしてその事業を行うのかその目的をお知らせし、また行ったことが形として残ることで、やりがいを感じてもらおうという参加者主体の計画づくりに欠けていたところがありました。</p>
<p>平成 27 年度から平成 29 年度までの計画では</p> <p>前述のことを踏まえ、これから 3 年間の事業実施にあたっては、どうしてその事業を行うのか、その目的を充分お知らせする計画づくりを行うこととします。</p> <p>また、一つの事業を通して、参加した人はもとより地域の人たちが「私たちの砂山地域には、こんないいところがある。今度みんなで行ってみよう。昔のいわれや写真などを知りたい。」というように、参加したことへの充実感を高め、地域に関心を持てる事業づくりを行うこととします。</p>
<p>※集落町内会事業の取り組み</p> <p>集落活動は、砂山地域まちづくりの基本です。集落事業を大事にすることで、足元をしっかりと見つけ、地域全体のつながりやふれあいを深めていくこととします。この実現ため、集落事業においても、事業の目的をお知らせすることで、共通した目的意識のもとで集落事業に取り組むものとしてします。</p>
<p>※砂山地域事業への取り組み</p> <p>花を使った環境づくり及び「お幕場」を活かした事業を計画し、地元に関心を持てる取り組みを行い、関心を持つことで砂山地域のまちづくりに波及していけるよう取り組みます。</p>



4 事業計画年度

事業項目	実施年度			備考
	27	28	29	
集落町内会事業の取り組み	▶			事業の目的を周知し、気持ちを一つにして取り組みましょう
砂山地域事業の取り組み	▶			
神林地区敬老会への参画	▶			該当の方の参加を支援していきます

参考：砂山地域のデータ

集落名	世帯	人口	15未満	55以上	65以上	農家数	平均年齢	高齢化率
牛屋	120	452	42	228	151	63	51.5	33.6
福田	96	338	27	177	123	39	52.7	35.4
北新保	87	310	37	250	95	48	47.4 (推計)	30.6 (推計)
(さつき園)	98	98	0	0	98	0	不明	不明
長松	16	69	11	31	18	14	46.4	25.7
赤松	26	77	26	5	4	0	29.0	5.1
塩谷	319	966	83	500	354	3	52.0	35.9
合計	762	2,310	226	1,191	843	167	52.2 (推計)	36.1 (推計)

※世帯、人口は平成27年1月1日住民基本台帳より。15未満、55以上、65以上人口、平均年齢、高齢化率は、平成26年4月1日住民基本台帳より。また(推計)とあるのは、さつき園単独の数値がないためです。

※農家数は、平成22年農林業センサスより。